

### 第3回 香川県輸血 Web 研修会参加者 各位

このたびは第3回香川県輸血 Web 研修会へのご参加ならびにアンケートへのご協力ありがとうございました。

アンケートからのご意見・ご質問について、講師の先生からの回答を掲載します。

今後とも香川県臨床検査技師会 輸血研究班の活動にご支援、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

#### Q1.11月の高知県の研修案内もまたよろしくお願いいたします。

A.香川県赤十字血液センター 学術 佐藤さんから別途案内されると思います。

Q2.混合血球分離の方法、コツを知りたいです。最後の熊本先生がおっしゃっていた内容が理解できませんでした。教材があれば題名を教えてください。

Q3.「混合赤血球分離の凝集部分の検査はどうする？」の回答をもう一度聞きたいです。

#### A1. 混合赤血球分離の凝集部分の検査

凝集部分から抗体を解離して検査をする場合、抗 A、抗 B で操作方法が異なります。

研修会でお話しましたが、抗 A 試薬を原液で用いた場合、非凝集部分を回収するには最適ですが、凝集部分を回収する場合は結合力が強く感作された抗体が解離されない場合があります。よって、抗 A 試薬の場合は 8 倍程度に希釈するか抗 A1 レクチンを用いて凝集させ、結合力を弱める。抗 B 試薬の場合は 8 倍程度に希釈するか A 型ヒトプール血清を用いたほうが容易かと思えます。

##### 抗 A1 レクチンを用いた場合

- 1.凝集塊に対して等量から 2 倍程度の 1%N – アセチルガラクトサミン（P B S で溶解）を加えます。
- 2.V O R T E X をかけ凝集を崩し 5～10 分放置
- 3.凝集が崩れたのを確認して 3000 r p m / 2 分、3 回洗浄

##### 抗 B（A 型ヒトプール血清）を用いた場合

- 1.凝集塊に対して等量から 2 倍程度の 0.1M D T T を加える
- 2.V O R T E X をかけ凝集を崩し 37℃15 分放置
- 3.凝集が崩れたのを確認して 3000 r p m / 2 分、3 回洗浄

これで、A B O 血液型が検査できますが、抗 B の場合は 0.1M D T T を使用しますので、D T T に感受性のある D u f f y や M N S , X g a などは検査できませんので注意が必要です。

#### A2. 混合血球分離の方法、コツ

混合赤血球分離をされたことがない方であれば、まずはやってみてください。今回は糖密度勾配分離法についてお話ししましたが、シャーレを用いて A B O 血液型のスライド法と同様の方法で凝集部分と非凝集部分を分離できます。また、糖密度勾配分離法を実施されるのであればガムシロップを 2 倍希釈または 2.5 倍、3 倍希釈がいいのか疑似的に A 型赤血球と O 型赤血球を 1 : 1 で混合し 8 倍程度の抗 A 試薬や抗 A1 レクチンを使って凝集させ、希釈したガムシロップの上に重層してみてください。まずは、上層部に凝集部分がいかに混在しないようにするか模索してみてください。良い方法が見つかるかもしれません。行き詰ったときは、いつでも下記にご連絡ください。

oo

日本赤十字社 九州ブロック血液センター 品質部 検査一課 熊本 誠

E-mail : [m-kumamoto@gc.bbc.jrc.or.jp](mailto:m-kumamoto@gc.bbc.jrc.or.jp)

〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣 3 丁目 4 番 12 号

TEL 0942-31-8953 FAX 0942-31-8952

oo

教材

[https://karingi-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/gaku01\\_karingi\\_onmicrosoft\\_com/ERwdzL3757RCqPPKEyySRQMBLRLmTsfEKS-ldWaFV3GIFw?e=0mwymA](https://karingi-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/gaku01_karingi_onmicrosoft_com/ERwdzL3757RCqPPKEyySRQMBLRLmTsfEKS-ldWaFV3GIFw?e=0mwymA)